

一貫した前立腺がん診療担う



別府湾腎泌尿器病院 病院長
佐藤 文憲 氏

内科主体の旧病院を前身に、泌尿器科領域の低侵襲医療（身体への負担軽減に配慮した医療）に特化した病院として再出発し、今年、5周年の節目を迎える。「スタッフと力を合わせ、地道に症例を積み重ねてきた」と振り返る。

腹腔鏡下手術支援ロボットを使った前立腺がんの手術は、2018年2月の開院から22年10月までに400例超を実施。昨年初めて、年間の当該手術件数が100例を超えた。20年に開始した、腎がん

に対するロボット支援腎部分切除術（腎機能を温存した低侵襲手術）も、まもなく20例目に達する。

診断に、MRIと超音波による融合画像を使う針生検（がんが疑われる標的への狙撃生検）も600例以上行っており（22年10月末時点）、早期発見から治療まで、一貫してがん向き合っている。

前立腺がんは食生活の欧米化に伴って増えているがんの一つという。「採血で前立腺がんをスクリーニング（ふるい

分け）するPSA検査は、健康診断で受けられる（自由診療。検査費用は3千円程度）。50歳以上の人はぜひ検討してほしい」と呼び掛ける。

高齢化に伴い発症しやすいがんで、80〜90代の患者も来院するため、放射線やホルモン療法なども選択肢に、体調や希望を勘案して治療方針を決めている。

尿管結石、前立腺肥大、女性の尿失禁、膀胱機能障害など、一般的な泌尿器科の疾患に苦しむ患者とも向き合う。「訴えを聞き、悩みを解決するため

に何ができるか、共に考える姿勢を大切にしている」と確たる信念を示す。

「地域に密着した内科医療と、がん診療を中心とした泌尿器科の診療という二つを強みとして融合させていきたい。排尿に困っている地域の患者さんのケアも担っていく」

5周年を前に、「順調にやってこられたのもスタッフが支えてくれていてのおかげ」と感謝の言葉を口にする。今年もスタッフと心を合わせ、病院の使命を果たしていく。

病院DATA

●診療科目

泌尿器科・内科・循環器内科・糖尿病内科・婦人科
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科(局麻)

●診療時間

平日／9:00～12:30、13:30～17:30

土曜／9:00～12:30

●休診日

第5土曜、日曜、祝日、年末年始



患者に寄り添った治療方針を提案

